

natusobiku journal

Month 02

February 2018

Curtain, Rug, Cushion, Lighting,
Apron, Bedlinen, and more...
all natural. feel cozy life!

「natusobiku journal」は日々の活動内容や想い、心地よい暮らしづくりのためのヒントをパートナーの皆様へお伝えするための情報誌です。

Featured this month

千葉県船橋市
K様 個人邸

スモーキーな色彩 ベイクドカラーの空間

主寝室のアクセントクロスは深みのあるトーンで落ち着いた印象。レトロな真鍮のランプがぬくもりのある光を放ち、穏やかで心地よいまどろみへと運んでくれそうな空間です。流行色のスモーキーな紺を取り入れた内装と調和するよう、窓にはアースカラーの灰青色の麻の生地をスクリーン状のローマンシェードに仕立てました。日本の風土が生んだ、どこか懐かしいくすんだような控えめな色彩は、トレンド色と組み合わせることで現代的な存在感を放ちます。



アメツチ 09 霞空 プレーンシェード

MONTHLY CONTENTS

伝えたいこと



窓装飾プランナーの
インテリアワーク

Works ■ 流行色のコーディネート事例

今回ご紹介するのは千葉県船橋市にある戸建て住宅のお客様です。まだ建築前の早い段階から natusobiku のアトリエで生地選びをしていただき、先日無事にご入居いたしました。無垢材ではありませんがナチュラルな雰囲気、良質な素材をバランス良く採り入れたお住まいです。リビングには「パトリ01 生成」と「ユラギ01 淡白」程よい採光とプライバシーのバランスが良い定番の組み合わせです。



リネンの垂麻糸は淡い青緑色のアクセントクロスや、続き間の和室に並んだブリーツスクリーンの明るい緑色と馴染んでいました。



表紙でもご紹介した主寝室には大きな窓もあり、シアーには同系色の「スズカゼ02あお」を合わせました。今年のトレンド色でもある

スモーキーな「ベイクドカラー」は、natusobiku の麻のカーテンが持つ穏やかで日本的な色彩と相性抜群です。今回の「アメツチ」は、他にも「08 よもぎ」「11 山吹」など、くすみのある流行色が多いので、カーテンやクッションなどに取り入れてみてはいかがでしょうか。



Topics

■ 落花生とみかんで残り染め

2018年の最初のワークショップは少し趣向を変えて、「残り染め」として落花生の殻とみかんの皮を使った染め物を行いました。染料用の特別な材料ではなく身近な食品の残りかすです生地を染め、家庭でも気軽に試していただけるような内容を目指しました。



捨てられてしまうはずの残りかすからでも、しっかりと色を出してくれました。次回は2月21日(水)、料理のスパイスとしても馴染みのあるクローブ(丁子)を使った草木染めを行います。「香染め」とも呼ばれ、他の染料にはない独特な香りをお楽しみいただけます。

Information

お客様への納入事例を夏そびくブランド HP に掲載しております。随時更新しておりますので是非チェックしてください。納品写真をお送り頂いた取扱店さまはブログ等でもご紹介させていただきます。営業担当者へ送付いただくか、下記のメールアドレスまでお寄せください。 → wholesale@natusobiku.jp



<http://www.natusobiku.jp/works>

手織りと機械織りとはそもそも分野が全然違う。それは100メートル走とモータースポーツの違いのようなものだ。100メートル走をしている人に、『速く走りたいならバイクに乗れば良い』と言う人はいない。

— 琉球餅の丸正織物工房 大城幸司さんが「伝統は本当に善か？」のなかで

Cotowari Design Inc. 千葉県千葉市緑区誉田町1-297-3

tel: 043(310)7975 fax: 043(310)7976 mail: info@cotowari-design.com

■ 事業内容 天然繊維のファブリック企画・製作・販売 / インテリアコーディネート/テキスタイル・広告デザイン制作